

## ご協力有難うございました

### 二上山登山道修復工事

紅葉・黄葉を輝かせていた二上山も、12月に入ると枯葉色に染め替えられていく。季節の移ろいをやや心静かに眺められる時期である。と言ってもやがて春になれば、あの無残な「ナラ枯れ」の惨状が目についてやるせない思いをさせられるのだが。

秋になってやっとナラ枯れが目立たなくなったのに、10月の台風21号が各所で松や杉を根こそぎ押し倒し、川筋の登山道をあちこちで破壊してしまっ



てしまった。そして遂に負傷者が出て、救急車が駆けつける事態となった。 ↑紅葉輝く二上山(11月中頃)

こうした事態に、心ある人たちの手作業による登山道手直し工事がなされ始めた。これらのご努力に感謝しつつ、微力ながら私も「せめて危険な箇所だけでも」と、祐泉寺からの登山道で下手な修復工事を始めたところ、道行く多くの登山者の皆さんが、力を貸して下さいました。皆さんのおかげで、2か所の危険な箇所はなんとか手直しできた。改めてご協力くださった皆さんにお礼を申し上げます。

また、来春暖かくなったら、工事を再開しようと思っています、そして、それは長期にかかると思われます。今後とものお力添えをお願い致します。

## 葛城山でのクマ目撃情報にびっくり

11月2日、3日と「葛城山で熊を見た」との情報が相次いだ。12月2日に同山を通る例会計画が組まれていたので、リーダーから「中止しようか」との相談を受けた。でも考えてみると「葛城山にツキノワグマが居る筈がない」ので、ネットでの情報をのぞき見しながら、当日予定通り実施された「ダイヤモンドトレール第一回目」の例会(健生会友の会山歩きクラブ主催)に参加。

葛城市當麻の祐泉寺から二上山へのコースは市により「通行止め」とされていたので、山口神社から二上山南のピーク原岳に登り、西に進んでダイトレコースに合流、竹内峠、岩橋山、葛城山を経て、水越峠まで何事もなく歩いた。

クマ目撃情報のあった北尾根コースの近辺では、それなりの注意を払ったが、さしたる雰囲気も緊張感もなかった。

縦走途中では、ツルリンドウの真っ赤な実がよく目立ち、また、つる植物・ボタンズルが葛城高原を覆うように広がっていて、その実の白い綿毛が晩秋のやわらかな陽光に輝いていた。

≡ツルリンドウの実

やわらかな陽光に輝いていた。



続・二上山に咲く花々 40

ツルニンジン(蔓人参)

キキョウ科ツルニンジン属

写真 澤木 仁 さん

ツル性で根が朝鮮人参に似ているそうです。別名のジイソブは「老人のそばかす」の意。花卉の斑点をそばかすに見立てたもの。

今年は3か所で花を見せてくれました。花期は8～10月

花は長さ3.5cmくらいの太い釣鐘型、外側は白く、内部は暗紫色模様が出来、褐紫色の斑点があります。薬とされ、ツルニンジン酒にも。



続・二上山に咲く花々 41

ミズヒキ(水引)

タデ科イヌタデ属

写真は澤木仁さん

水引は贈答品を結ぶ飾り紐。その水引を連想させるのでこの名に。8～10月二上山の至る所で見かけます。この花を見ると夏から秋への移ろいを実感します。7～80cmの細い枝をしなやかに伸ばして、その枝に小さい花を点々と咲かせます。花の上半分は赤、下が白で、風に揺らぐ様子は夏には涼しさを、秋には儂さを感じさせます。



続・二上山に咲く花々 42

キンミズヒキ(金水引)

バラ科キンミズヒキ属

写真は 澤木仁 さん

この花も水引の名が付きますが、ミズヒキとは別種です。花期は8～10月、登山路の端から長い(80cmにも)茎を伸ばして黄色い花(直径1cm)を沢山咲かせます。花は5弁でパッチリと可愛いのですが、花のあとに出来る実が鉤のあるトゲを持っていて、衣服に付着するので、思わず敬遠してしまいます。

